【令和８年度　特別の教科 道徳　授業改善推進プラン】

道徳で身に付けさせたい力・目指す生徒像

道徳的価値及びそれに基づいた人間としての生き方についての自覚を深め、道徳的実践力を身に付けた生徒 高めたい道徳性　　自主、自律、自由と責任（Ａ①）思いやり、感謝（Ｂ⑥）社会参画、公共の精神（Ｃ⑫） 遵法精神、公徳心（Ｃ⑩）、生命の尊さ（Ｄ⑲）、よりよく生きる喜び（Ｄ㉒）

学習状況及び課題

	１学年	２学年	３学年
学習状況	・学習の主題に対して、自分の生活と関連付けて、考えたり振り返ったりしている生徒が多い。 ・他者と考えを共有し、活発に話し合いを行い、考えを深めている様子がある。	・授業の内容を、自身の生活と結びつけて考えることのできる生徒が多い。 ・自分の考えをもち、記述・発表することができる生徒がいるが、個人差が大きい。	・ねらいを自分との関わりで捉え、自分の考えを書いたり、発表したりする生徒が多い。 ・多面的・多角的にとらえる必要があるテーマが増え、様々な立場で考える難しさを実感している生徒が多い。
指導上の課題	・授業で考えたことや学んだことが、授業内で終始していることが多い。実際の生活場面に置き換えて、今後どのように行動していくかを考え、自身の行動につなげていく必要がある。また、行事や他教科と関連付けて、道徳での学習内容が活かすことのできる場面を多く設定する。 ・さまざまな価値観について多面的・多角的な視点から振り返って考える機会を設ける。生徒が多様な見方や考え方に接しながら、さらに新しい見方や考え方を生み出していけるようにする。		

改善プラン

	１学年	２学年	３学年
学習面	・道徳的価値の理解を自分との関わりの中で捉え、多様な考えを聞き、さらに考えを深め、表現できるようにする。 ・「自分ならどうするか」という観点から道徳的価値に向き合い、多様な見方や考え方に接しながら、道徳的価値を多面的・多角的に考えられるようにする。	・道徳的価値の理解を自分との関わりの中で捉え、考えをまとめて発表し、多様な考えを聞いて、さらに考えを深めたりすることができるようにする。 ・「自分ならどうするか」という観点から道徳的価値に向き合い、議論の中で、道徳的価値を多面的・多角的に考えられるようにする。	・議論する中で自分とは異なる意見と向き合い道徳的価値について多面的・多角的に学び、実践へと結びつけることができるようにする。 ・それぞれの意見に対してどのような良さがあるのかを吟味して、意志決定をしていく力を身に付けることができるようにする。
指導面	・道徳的価値の理解を基に、自分ならどのように行動・実践するかを考え、議論できるようにする。 ・「考え、議論する」道徳授業となるように教材分析を行い、生徒が多様な見方や考え方に接しながら、さらに新しい見方や考え方を生み出していけるようにする。 ・本時のねらいを明確に示し、生徒一人一人の思いや考えを数多く引き出す発問を設定する。指導書を参照しながらも、実際の生徒の状況に合わせて発問をしぼりこむ。 ・行事や総合的な学習の時間などとの関連を図り、道徳的実践の機会を数多く設定する。 ・生徒の発達段階や特性、地域の実情等を考慮し、多様な教材の活用に努める。 ・板書計画を立て、チョークの色使い、生徒の話し合いの流れが分かるように、構造的で丁寧な板書を心掛ける。必要に応じて、ＩＣＴ機器を用いて班の意見をまとめ、グループ発表に有効活用する。指導案やワークシート等を保存して、実践事例の共有を行う。		

評価

・学校評価アンケート ・道徳的価値やそれに基づいた人間としての生き方についての自覚の深まり、道徳的実践に対する意欲の高まりについてワークシートへの記入や発言などを基に評価する。